

2020.6.1-11.30

## 株主メモ

事業年度 6月1日～翌年5月31日  
定時株主総会 8月  
基準日 5月31日  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵送先)  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
電話:0120-232-711(通話料無料)

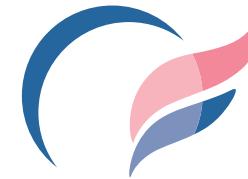
公告の方法 電子公告の方法によります。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <https://www.pharmarise.com/>  
証券コード 2796(東証一部)

## 株主優待のご案内

株主様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に当社株式を保有していただくこと、並びに当社グループの事業に対するご理解をより深めていただくことを目的として、株主優待を行っています。

- ◆令和2年11月末基準(令和3年5月期)株主優待品◆
- 対象株主 令和2年11月30日時点で当社株式を**1単元(100株)以上、1年以上保有**されている株主様
- 優待の内容 ①薬用ハミガキ粉「デンタルポリスDX」2本  
②アイボッシュ(除菌消臭水セット)  
③弊社商品券2,500円分(500円券×5枚)  
の中からおひとつを選択いただけます。
- 贈呈時期 令和3年3月下旬～6月中旬ごろ(予定)
- ※令和2年5月期より対象株主様の条件を変更いたしております。



ファーマライズホールディングス株式会社

株主通信 令和3年5月期  
第2四半期

To Our Shareholders

かかりつけ薬剤師・薬局の進化——地域医療の推進と対人業務へのシフト——

Top Interview

力強く成長する経営基盤を構築し、  
調剤薬局事業の強化、物販事業の拡大を推し進めます

グループ体系

Topics〈オンライン服薬指導の体制を強化 ほか〉

四半期連結財務諸表

会社概要

株主メモ・株主優待のご案内



ファーマライズホールディングス株式会社

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル  
TEL 03-3362-7130 FAX 03-3362-7190

<https://www.pharmarise.com/>

証券コード 2796

# To Our Shareholders 株主の皆様へ

## かかりつけ薬剤師・薬局の進化 ——地域医療の推進と対人業務へのシフト——



代表取締役会長  
大野 利美知

はじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々の一日も早いご回復をお祈りいたします。

当社グループのコア事業である調剤薬局事業においては、国や社会が求める薬局・薬剤師の責務や機能に対して順応していくと同時に、独自の進化を遂げ柔軟に対応しなければ、その流れの中に淘汰されてしまう程のうねりが起きております。

当第2四半期連結累計期間(令和2年6月1日～令和2年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。このところ持ち直しの動きがみられ、感染症が内外経済を下げさせるリスクに十分注意する必要があるものの、この動きが続くことが期待されております。

調剤薬局業界におきましては、医療費抑制等の社会的要請を背景に後発医薬品の使用拡大及びセルフメディケーションに対する取り組み強化、並びに厚生労働省の発表した「患者のための薬局ビジョン」への対応が求められる中、周辺業種からの参入により競争が激化する的同时に、平成30年4月及び令和2年4月の診療報酬・薬価改定の影響、令和元年12月4日に5年ぶりとなる「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(薬機法)の改正に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、更なる経営努力が求められる事業環境となっております。

このような環境の下、当社グループは、今後迎える超高齢社会を見据え、これまで進めてきた「地域医療」の更なる推進、及び当社独自の社内資格制度である「ヘルシーライフアドバイザー制度」並びにヘルシーライフアドバイザーにより生活習慣病の予防を継続的に支援していく当社独自プログラムである「継続支援プログラム」の提供等を通して、適切な予防医療を推進・普及することで「健康寿命の延伸」への貢献を一層加速し、今後の安定した経営につなげてまいります。

令和2年9月1日に施行された薬機法改正において、薬剤師による継続的な薬剤使用状況を把握し、服薬指導することが義務化されたことについては、当社で開発している電子お薬手帳「ポケットファーマシー」に服薬フォロー機能を実装することで、また、テレビ電話等による服薬指導が可能となったことについては、オンライン服薬指導アプリ「ポケットミーティング」を当社で開発することで、法改正にいち早く対応しております。当社グループの全ての店舗で利用できる環境を構築しており、法改正においても強く求められている薬剤師の対人業務へのシフトを推進しております。

これらの施策は、当社グループの更なる発展に寄与していくものと考えております。株主の皆様には、引き続き変わらぬご高配を賜りますよう心からお願い申し上げます。

# Top Interview トップインタビュー

## 力強く成長する経営基盤を構築し、 調剤薬局事業の強化、物販事業の拡大を推し進めます



代表取締役社長  
秋山 昌之

### Q. 当四半期(令和2年6月1日～令和2年11月30日)の業績について教えてください。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高256億66百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益5億25百万円(同0.8%増)、経常利益5億36百万円(同2.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億27百万円(同78.6%減)となりました。

売上高につきましては、令和元年10月1日付で連結子会社化した株式会社メディカルフロント、令和2年3月1日付で連結子会社化した株式会社ヘルシーワーク、令和2年3月31日付で取得した株式会社ウィーク及び令和2年4月1日付で取得した有限会社サン・メディカルが増収に寄与したものの、令和2年4月の薬価改定、新型コロナウイルス感染症の影響による処方せん枚数の減少、不採算店舗の閉局・閉店の影響もあり、前年同四半期比0.4%減収となりました。

一方、利益面においては、上記のとおり、新たな会社を連結子会社化したことに加え、売上原価の抑制効果、販管費のコントロールによる経費削減の効果等を主な要因として、調剤薬局業界全体として新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中、営業利益、経常利益は、ともに前年同四半期比増益となりました。そして、前年同四半期に法人税等調整額△438百万円を計上していたこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比減益となりました。

### Q. 通期(令和2年6月1日～令和3年5月31日)の業績予想について教えてください。

令和3年1月14日付で発表いたしました「令和3年5月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と決算値との差異及び令和3年5月期通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」のとおり、最近の業績

の動向等を踏まえ、令和2年7月15日付で公表いたしました令和3年5月期連結業績予想を修正してございます。

売上高につきましては、新型コロナウイルスの影響が残っていること等から、当初予想より減収が見込まれます。一方、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、新型コロナウイルスの影響が当初想定以上に残っていること、令和3年4月に薬価改定が控えていることから、下半期は当初計画と比較して減益となる可能性があります。一方で上半期に引き続き、調剤薬局事業における売上原価の抑制効果が当初想定以上で推移し、販管費コントロールの効果が期待できるとも想定され、通期としては、通期連結業績は売上高519億27百万円(前期比1.7%増)、営業利益11億87百万円(同14.7%増)、経常利益11億72百万円(同14.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億78百万円(同34.4%減)を予想しております。

### Q. 下半期に注力することについて教えてください。

当社グループでは、平成30年11月8日に「中期経営計画SFG(Steps for Future Growth)2021～成長を目指した経営基盤の構築」を公表しております。下半期についても、この中期経営計画を基に、①調剤薬局事業における競争力の強化及び新規出店並びにM&Aの加速、②物販事業の拡大及び収益性の向上、③業務手法とグループ組織構造の見直しによる収益構造の改善を行ってまいります。

コア事業である調剤薬局事業の強化、新規出店とM&A、物販事業の収益力の改善、新基幹システム導入や統合効果による更なる収益性向上により、中期経営計画の最終年度(令和4年5月期)の目標値である営業利益15億円を達成するよう全力で取り組んでまいります。

# グループ店舗数\*の状況

※連結子会社の店舗数合計

## ■グループ体系(令和2年11月末現在)

連結子会社	調剤店舗数	非調剤店舗数
ファーマライズ株式会社	257	47
株式会社寿データバンク	—	—
株式会社ミュートス	—	—
株式会社ケミスト	6	—
株式会社レイケアセンター	—	—
株式会社メディカルフロント	—	—
株式会社ヘルシーワーク	32	—
株式会社ウィーク	—	—
有限会社サン・メディカル	4	—
<b>合計</b>	<b>346</b> 店舗	<b>299</b>

## ■新規出店・M&Aによる規模の拡大

店舗形態	R01年5月末店舗数	新規開局・開店	M&A・事業譲受	閉局・閉店・売却	R02年11月末店舗数
調剤薬局店舗	294	6	1	2	299
非調剤店舗(ドラッグストア等)	48	1	—	2	47
<b>合計</b>	<b>342</b>				<b>346</b>

## ■都道府県別出店状況(令和2年11月末現在)

都道府県	調剤店舗数	非調剤店舗数
滋賀県	3	—
京都府	8	4
大阪府	46	18
兵庫県	17	—
奈良県	4	—
和歌山県	4	—
富山県	4	—
石川県	7	1
福井県	7	—
新潟県	15	—
山梨県	1	—
岐阜県	2	—
静岡県	13	1
愛知県	13	—
三重県	9	—
長崎県	6	—
宮崎県	1	—
沖縄県	5	—
北海道	46	1
宮城県	10	—
秋田県	2	—
山形県	1	—
福島県	11	—
茨城県	3	—
栃木県	1	—
群馬県	7	—
埼玉県	7	—
千葉県	6	3
東京都	32	15
神奈川県	8	4

# TOPICS —トピックス—

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

## オンライン服薬指導の体制を強化

令和2年1月、当社は**ファーマライズ薬局美浜店**(千葉県千葉市)で、国家戦略特区における都市部でのオンライン服薬指導を実施いたしました。その後、4月に新型コロナウイルス感染症拡大への時限的措置としてオンライン診療の基準が緩和され(0410対応)、続く9月には、正式にオンライン診療・服薬指導の導入が盛り込まれた改正薬機法が施行されました。

当社では美浜店での実績を踏まえ、全調剤薬局店舗に自社で開発したオンライン服薬指導システム「ポケットミーティング」を導入いたしました。当社の強みである地域医療、在宅医療への関与方策として、更に取り組みを推進してまいります。

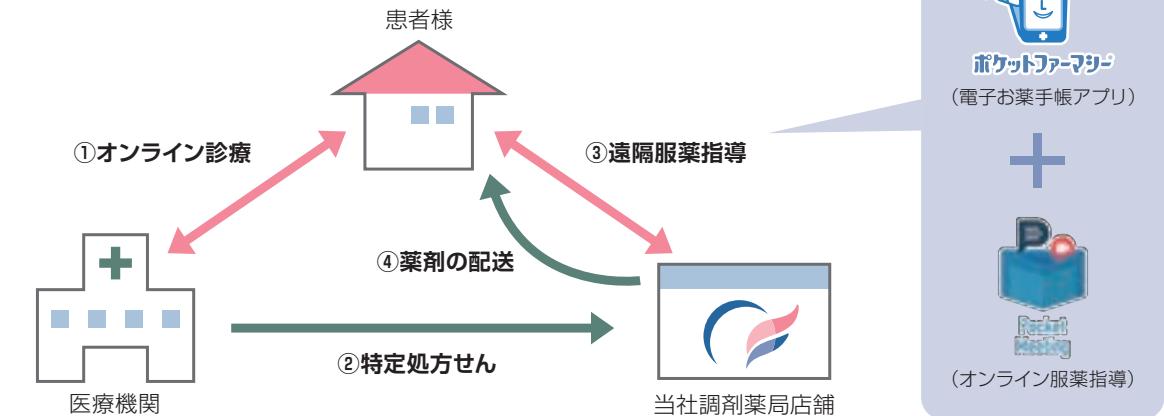
## 開局・出店8店舗(連結ベース)

令和3年5月期上半期(令和2年6月1日～11月30日)は、下記のとおり**調剤薬局7店舗**、**鍼灸・マッサージ院1店舗**を開局・出店いたしました。

調剤薬局店舗	非調剤店舗(ドラッグストア等)
6月 なんこう店(大阪)	6月 鍼灸・マッサージ院(静岡)
7月 常盤台店(神奈川)	
9月 アトレ竹芝店(東京)	
10月 1店舗(千葉) ※取得 門前仲町店(東京) 金沢医科大学(石川)	
11月 三輪店(奈良)	



## オンライン服薬指導のイメージ



## 四半期連結財務諸表

### ■ 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 (令和2年11月30日現在)	前期末 (令和2年5月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	9,196	10,676
固定資産	14,410	14,524
有形固定資産	6,315	6,332
無形固定資産	4,898	5,285
投資その他の資産	3,196	2,906
繰延資産	3	4
資産合計	23,610	25,206
<b>負債の部</b>		
流動負債	8,868	10,036
固定負債	8,772	9,223
負債合計	17,640	19,259
<b>純資産の部</b>		
株主資本	5,724	5,693
資本金	1,251	1,229
資本剰余金	1,458	1,437
利益剰余金	3,195	3,197
自己株式	△180	△172
その他の包括利益累計額	3	3
新株予約権	208	211
非支配株主持分	33	37
純資産合計	5,969	5,946
負債純資産合計	23,610	25,206

### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 (令和2年6月1日から令和2年11月30日まで)	前第2四半期累計 (令和元年6月1日から令和元年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19	683
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690	△258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△968	△750
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,678	△325
現金及び現金同等物の期首残高	4,464	4,393
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,785	4,067

### ■ 四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 (令和2年6月1日から 令和2年11月30日まで)	前第2四半期累計 (令和元年6月1日から 令和元年11月30日まで)
売上高	25,666	25,761
売上原価	21,871	22,047
売上総利益	3,795	3,714
販売費及び一般管理費	3,269	3,193
営業利益	525	521
営業外収益	87	75
営業外費用	76	73
経常利益	536	522
特別利益	25	1
特別損失	90	63
税金等調整前四半期純利益	471	459
法人税等	348	△137
四半期純利益	122	597
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	127	595

## 会社概要

### ■ 会社概要(令和2年11月30日現在)

設 立	昭和59年6月
社 名	ファーマライズホールディングス株式会社
資本金	1,251百万円
本店所在地	東京都中野区中央一丁目38番1号
主な事業内容	持株会社(調剤薬局事業などを営むグループ 会社を統括する管理運営会社)
ホームページ	https://www.pharmarise.com/
主要取引銀行	株式会社三菱UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社横浜銀行 他
連結従業員数	1,959名(非常勤含む)

### ■ 役 員(令和2年11月30日現在)

代表取締役会長	大 野 利美知
取締役副会長	大 野 小夜子
代表取締役社長	秋 山 昌 之
専務取締役	松 浦 恵 子
取締役	沼 田 豊
取締役	菅 野 洋
取締役(社外)	渡 邊 則 夫
取締役(社外)	多 田 宏
取締役(社外)	原 知 己
取締役(社外)	中 西 雅 也
取締役(社外)	戸 田 一 誠
常勤監査役	小 高 芳 夫
監査役(社外)	榎 本 孝 之
監査役(社外)	園 部 経 夫

### ■ 株式の状況(令和2年11月30日現在)

発行可能株式総数	31,398,000株
発行済株式総数	9,615,515株
保有自己株式総数	282,800株
株主数	10,586名

### ■ 大株主の状況(令和2年11月30日現在)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ビックフィールド	3,015,000	32.3
中北薬品株式会社	396,000	4.2
株式会社バイタルネット	396,000	4.2
株式会社ほくやく	396,000	4.2
ファーマライズ従業員持株会	353,400	3.8
大野 小夜子	287,780	3.1
ヒグチ産業株式会社	214,500	2.3
AG2号投資事業有限責任組合	182,400	2.0
大野 利美知	174,900	1.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	168,600	1.8

(注) 持株比率は、自己株式(282,800株)を控除して計算し、小数点第1位未満を四捨五入して表示しております。

### ■ 主要仕入先

アルフレッサ株式会社	中北薬品株式会社
岩淵薬品株式会社	株式会社バイタルネット
株式会社スズケン	株式会社ほくやく 他

### ■ 主要な連結子会社(令和2年11月30日現在)

名 称	住 所	事業内容
ファーマライズ株式会社	東京都中野区	
株式会社ケミスト	長崎県諫早市	調剤薬局事業
株式会社ヘルシーワーク	大阪府大阪市	
有限会社サン・メディカル	神奈川県茅ヶ崎市	
株式会社寿データバンク	栃木県足利市	医学資料保管・ 管理事業
株式会社ミュートス	大阪府大阪市	製薬企業等向け システムインテグ レーション事業
株式会社レイケアセンター	大阪府大阪市	人材派遣事業
株式会社メディカルフロント	東京都中野区	医療関連IT ソリューション事業
株式会社ウィーク	東京都文京区	有料職業紹介事業